




**2020年度（2021年3月期）
第1四半期 決算説明資料**

2020年8月7日（金）

**日本KFCホールディングス株式会社
（東証第2部 証券コード 9873）**



- 
- 1. 2020年度 第1四半期 実績**
 - 2. 2020年度 業績見通し**
 - 3. KFC事業の主な取り組み**



1. 2020年度 第1四半期 実績

連結損益

単位：百万円

	2020年度第1四半期		2019年度第1四半期		増減	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
売上高	19,762	-	17,717	-	2,045	-
売上総利益	8,594	43.5%	7,777	43.9%	816	▲0.4%
販売管理費	▲7,305	37.0%	▲6,826	38.5%	▲478	1.6%
営業利益	1,289	6.5%	951	5.4%	338	1.2%
営業外損益	▲743	▲3.8%	88	0.5%	▲832	▲4.3%
経常利益	545	2.8%	1,039	5.9%	▲494	▲3.1%
純利益	82	0.4%	701	4.0%	▲618	▲3.5%

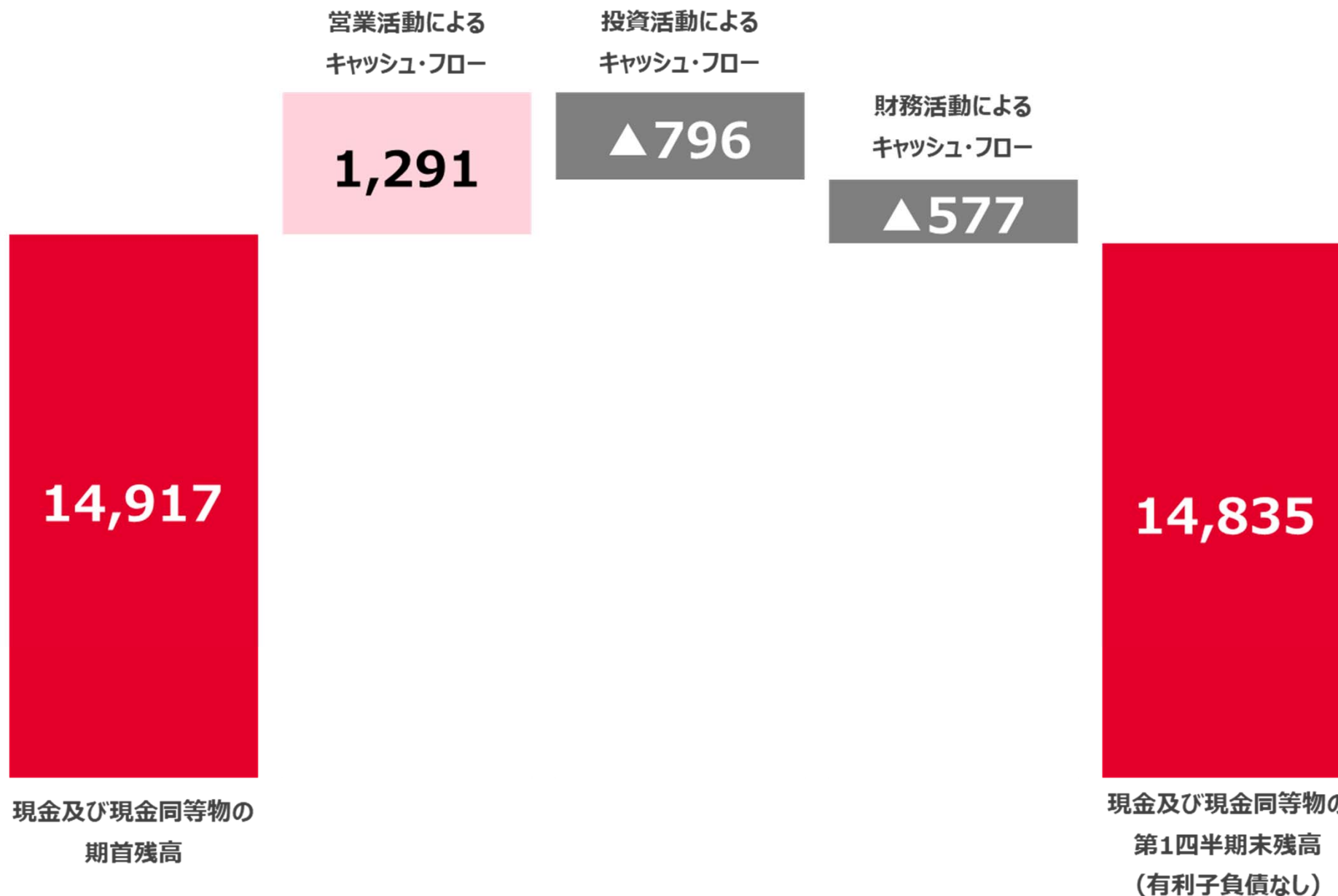
KFC事業においては、持ち帰り需要の拡大を受け、増収の結果となった。一方、持分法適用関連会社であるBamboo (Thailand) Holding Pte. Ltd.及び株式会社ビー・ワイ・オーにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により厳しい市場環境が続いており、これにより、持分法による投資損失764百万円を営業外費用に計上した。（このうち、627百万円については、Bamboo (Thailand) Holding Pte. Ltd.において投資先の公正価値を再評価した結果、評価額の減少が生じたことに起因するものである。）

連結財務指標

指標	2020年度 第1四半期	2019年度末
自己資本比率（％）	57.6	57.4
自己資本利益率（％）	0.4	7.1
総資産純利益率（％）	0.2	4.0
1株当たり純資産（円）	956	976
1株当たり当期純利益（円）	3.7	68.6
期末日株価終値（円）	2,993	2,310
時価総額（百万円）	66,901	51,630

【ご参考】連結キャッシュ・フロー

単位：百万円



KFC事業 ハイライト (第1四半期)



チェーン売上高

320億円
過去28年間で最高

既存店売上高
前年同期比

+21.2%

既存店客数
前年同期比

+1.4%

既存店売上高
前年比

**8四半期連続
の増加**
2018年度第2四半期～
2020年度第1四半期

既存店
平均月商

1,032万円
過去19年間で最高
(稼働ベース)

店舗数

1,131店舗
前期末比▲2

改装店舗数

58店舗
前年同期比+16

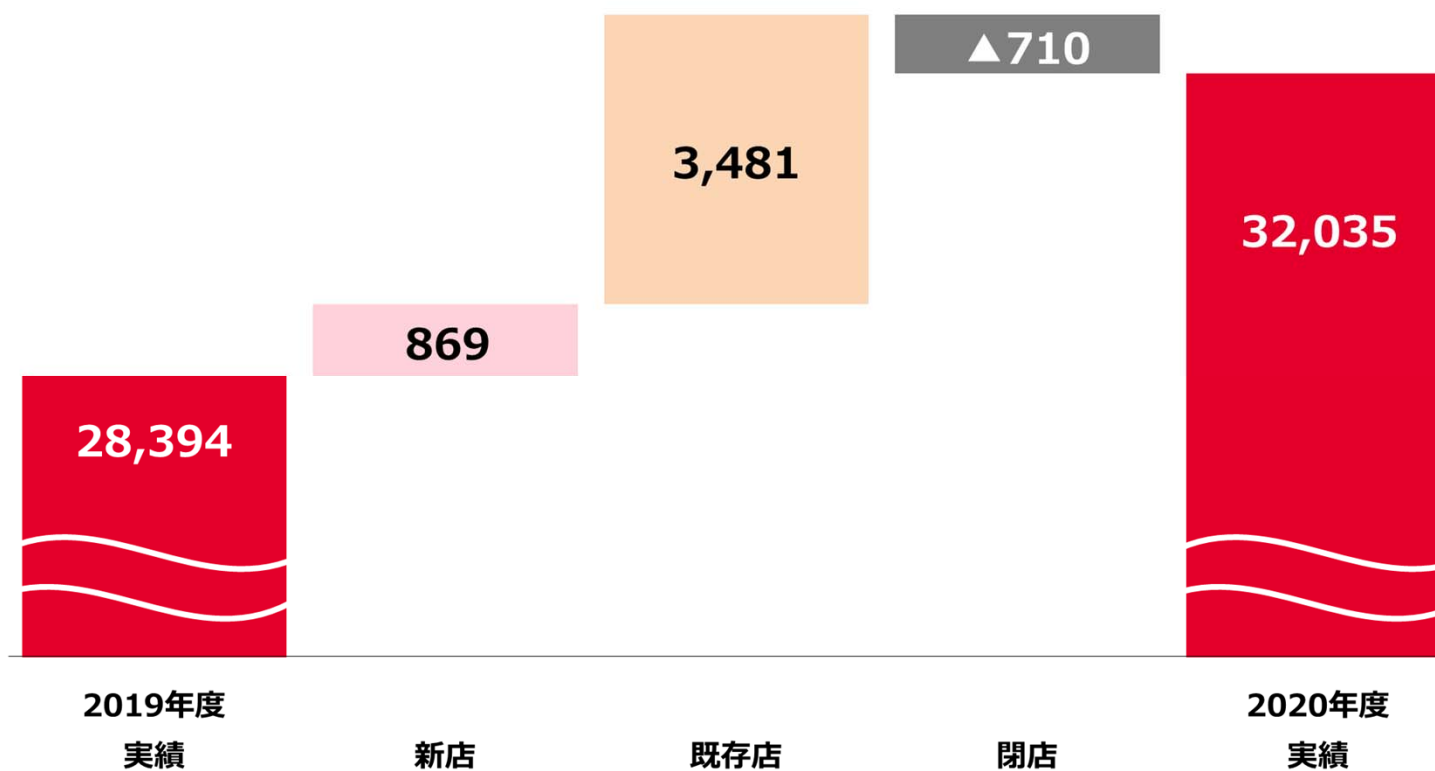
デリバリー
対応店舗数

264店舗
前期末比+44

KFC事業 チェーン売上高 (第1四半期)

単位：百万円

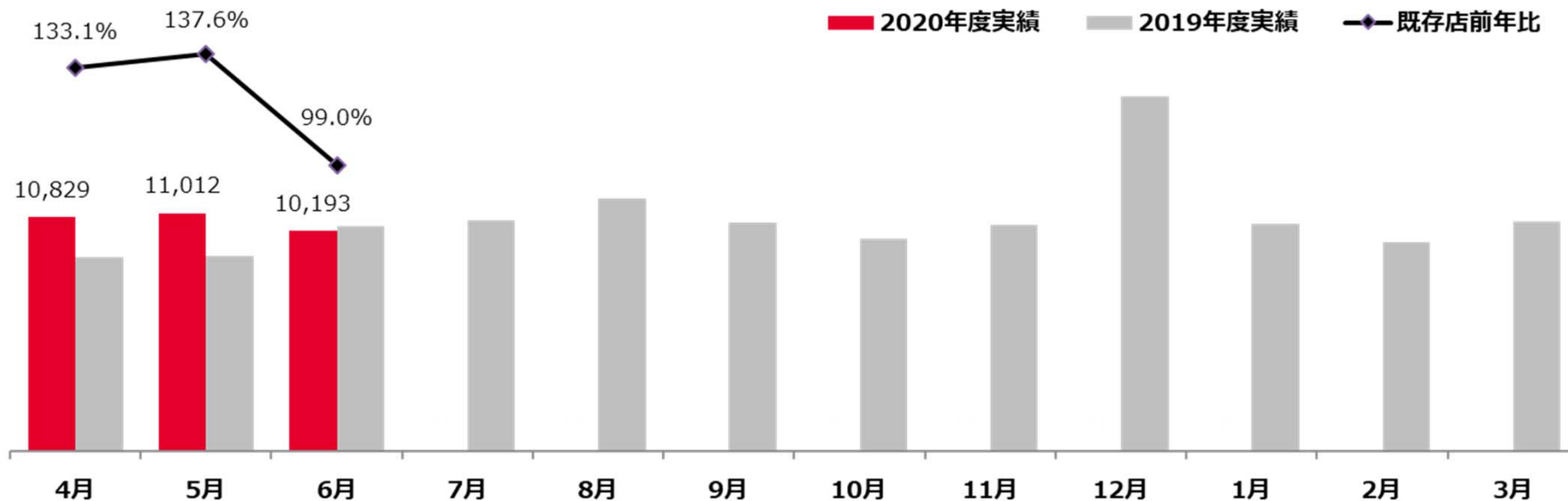
	2020年度	2019年度	増減
直営	8,699	8,140	558
フランチャイズ	23,335	20,253	3,082
チェーン売上高	32,035	28,394	3,641



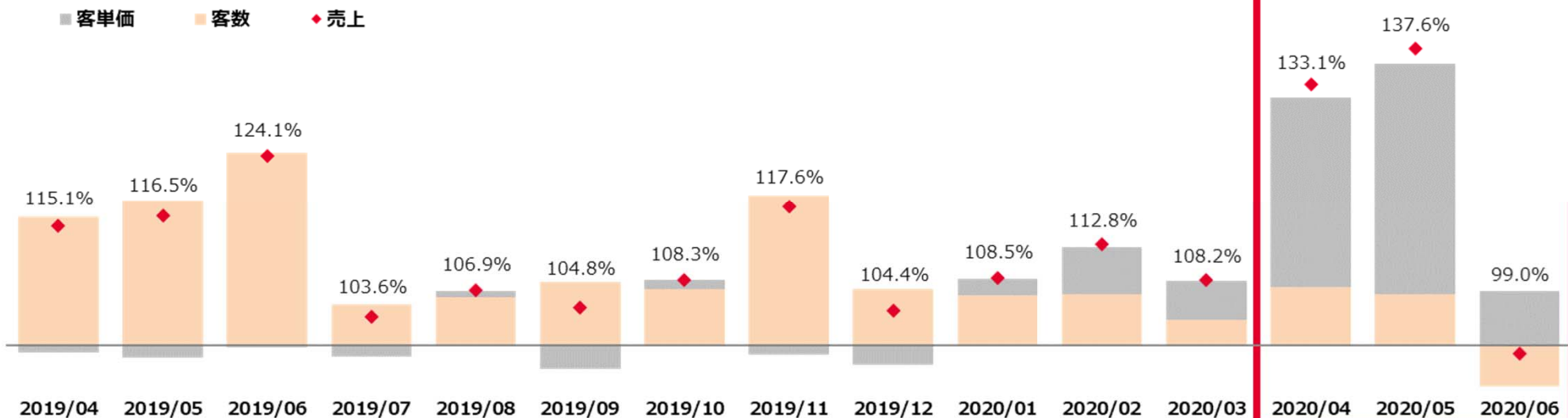
月別チェーン売上高・既存店前年比

<月別チェーン売上高 及び 既存店前年比>

単位：百万円

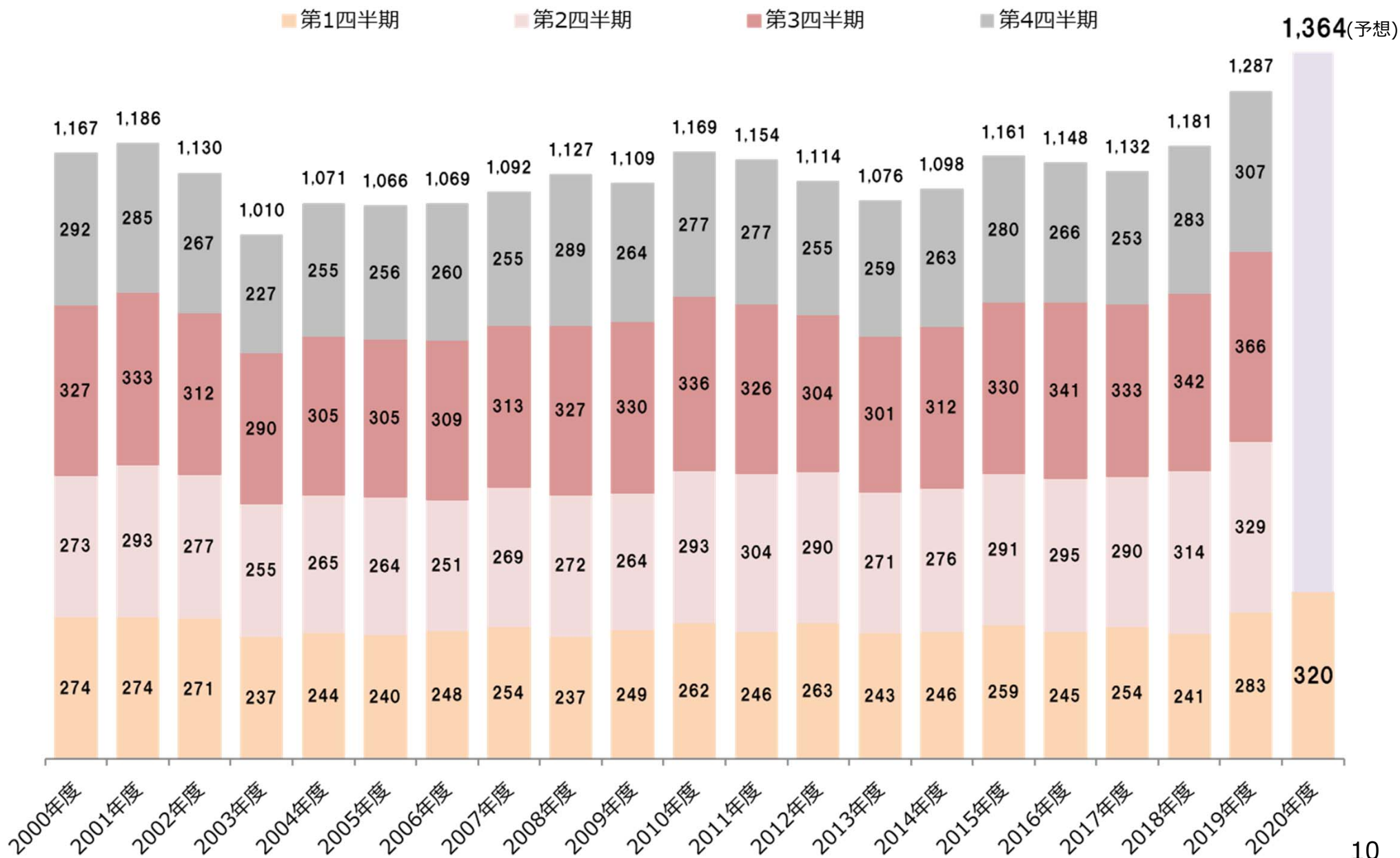


<月別既存店前年比 内訳 (客数・客単価)>



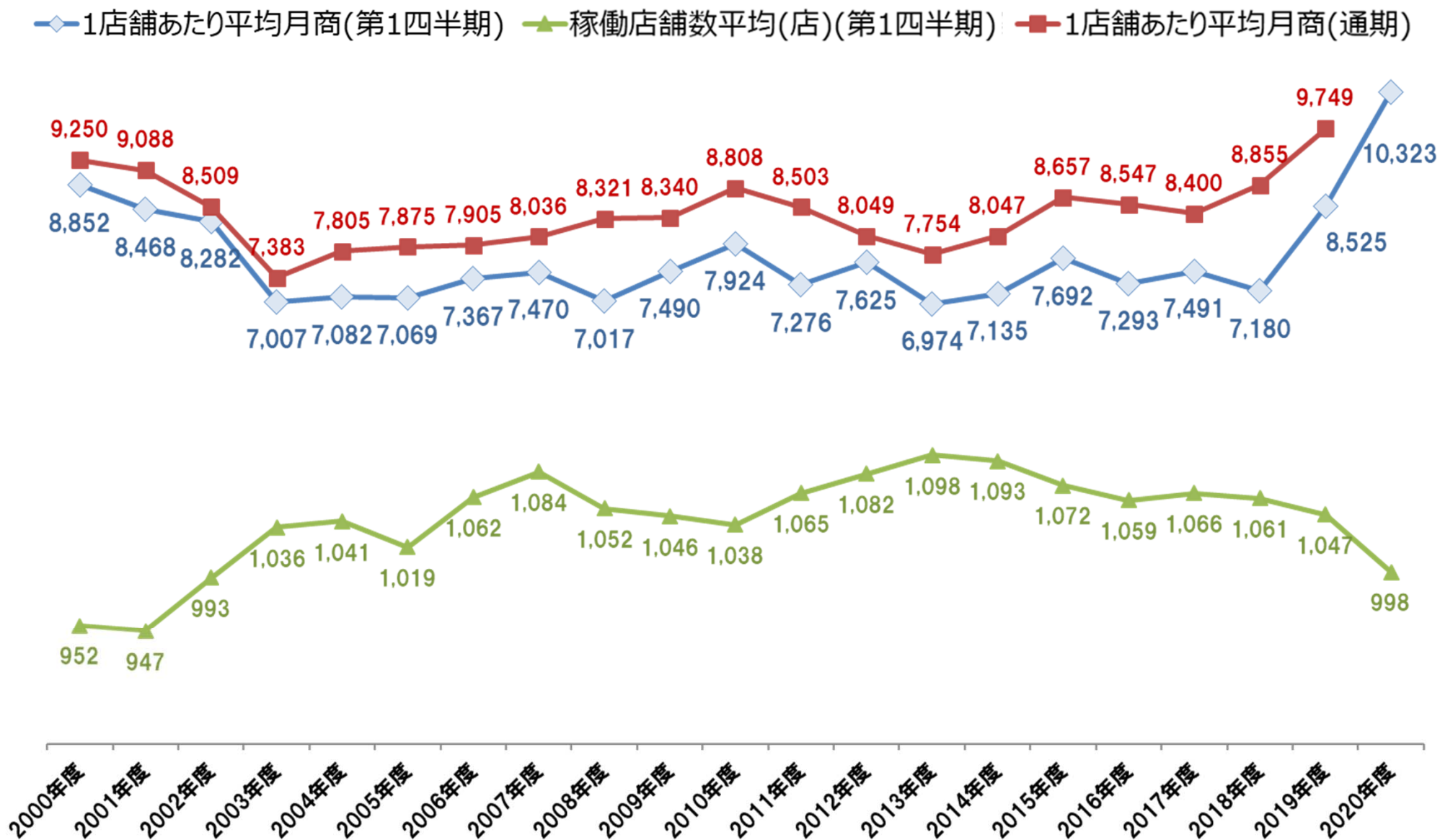
年度別チェーン売上高 長期推移

単位：億円



既存店平均売上高 長期推移

単位：千円



※稼働店舗：営業している店舗のみを指す。改装等で休業している店舗は除く。




2. 2020年度 業績見通し

2020年度 業績見通し

単位：百万円

	2020年度 予想	2019年度 実績	増減
売上高	85,000	79,634	5,365
営業利益	5,000	4,785	214

なお、年間配当金といたしましては、中間配当として25円、
期末配当として25円を予定しております。



3. KFC事業の主な取り組み

日常化の推進

- 「お得感」のある施策による日常化×驚きや楽しさを届ける新商品開発



※2020年4月から7月の商品施策

- お客様へのメッセージの統一化
「今日、ケンタッキーにしない？」

店舗における感染症対策

お客様と従業員の「安全・安心」を最優先に考え、
お客様のご協力のもと、各種対策を実施しております



創業50周年

日本KFCは、2020年に創業50周年を迎えました。

日々変化する時世の中においても、
食を通じて「おいしさしあわせ」を変わず提供することで
感謝の気持ちを形にまいります。



誰にも真似できないおいしさを守り続けることをお約束し、
KFCらしいチャレンジに取り組んでいきます。

**50周年、さらに先の50年も、
お客さまをワクワクさせるKFCであり続けるために。**



本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は日本KFCホールディングス株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

KFC